

《十小スタンダード及び全校で統一する取組》

◆はじめとおわりに あいさつしよう ◆必要なものだけ 机の上に ◆よい姿勢で 座ろう「ぐう ぴた ぴん」 ◆「はい」 立つ 「～です」

☆児童の実態に合った問いかけをする ☆教室前面を統一するなど、学習環境のユニバーサル化を図る ☆東京ベーシックドリルの活用

《今年度、学年として、何事にも進んで挑戦し、やる気満々の児童を育てるために系統立てて取り組むこと》

- 学習のゴールイメージをもち、問題を発見し、解決の道筋を考える。
- 学習する過程で、自分の考えを表現し、解決の方法を修正できる。
- 学び合い、考えや学び方を広めたりふかめたりできる。

授業改善に向けた教科ごとの方策 第1学年

教科名	児童の実態	学年末までに期待される児童の姿	具体的な授業改善策(箇条書き)	検証及び修正案
国語 (読み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなを書いたり、読んだりすることに意欲的で、関心をもって学習に取り組んでいる。</li> <li>・自分の考えを書いて表現したり発表したりすることを苦手とする児童もいる。</li> <li>・助詞や長音、拗音、促音などを正確に使って文章を読むことや文を書くことができない児童がいる。</li> <li>・本を読むことは好きだが、気に入った本ばかり読んでいる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9割の児童が文章の内容を理解して自分の考えをもち、それを書いたり発表したり楽しみながら学習することができる。</li> <li>・9割の児童が、学習した言語事項を正しく使って文章を読んだり書いたりできる。</li> <li>・9割の児童が様々な本に興味をもち、すすんで本を読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読する機会を多く設定し、様々な音読のさせ方をする。</li> <li>・自分の考えをもったり話したりする経験を重ねるため、対話などの交流の場面を意図的に設定する。</li> <li>・既習事項を繰り返し学習する。</li> <li>・様々な本についての児童の関心を高めるため、読み聞かせを多く行う。</li> <li>・司書と連携して、教科書で学習したことと関連する書籍を用意して紹介する。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数を数えたり、足し算や引き算をしたりすることに意欲的で、関心をもって学習に取り組んでいる児童が多い。</li> <li>・数についての大小は理解しているが、10の合成・分解について習熟していない児童がいる。</li> <li>・答えを書くとき、単位を正しく書けない児童がいる。また、「どちらがどれだけ多い」「どちらがどれだけ少ない」など問われたことに正しく答えられない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1から10までの数、10から10までの数を具体物や半具体物と数を一致させて書くことができる。</li> <li>・たし算ひき算の計算力を確実にし、正確に計算できる。</li> <li>・時刻、長さ、図形の学習の初期の内容を確実に理解できる。</li> <li>・文章問題で問われていることに対して正しく答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足し算や引き算の意味理解が不十分な児童に対しては、絵や図を使って考えさせたり、たし算・ひき算のキーワードに注目させたりする。</li> <li>・10の合成と分解、繰り上がり・繰り下がりの計算を確実に理解させるために、ブロック等の操作を授業の中で繰り返し行う。</li> <li>・「〇ほん」「〇ひき」等の数え方については、国語の「かずとかんじ」も使いながら繰り返し学習する。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や生き物に触れ合ったり、育てたりする経験が十分でない児童がいる。</li> <li>・植物の育ちの変化や成長の様子などについてワークシートに書き表すことが苦手な児童がいる。</li> <li>・地域の施設を利用している児童が比較的多いが、地域の方々や自分たちがお世話になっている方々の存在に気付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や生き物に興味をもち、栽培や飼育活動に意欲的に取り組むとともに、育ちや成長の様子に気付くことができる。</li> <li>・観察の仕方やワークシートの書き方を理解し、気づきや思いを書くことができる。</li> <li>・友達や異学年の児童、地域の方々など様々な立場の人に感謝の気持ちをもち、すすんで関わろうとする気持ちがもてる。また、関わるようになるようになった時には、すすんで関わる事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝顔の観察やサツマイモの栽培、虫取りなどの活動を設定し、植物や生き物に触れ合う体験をさせる。</li> <li>・育ちの変化や成長の様子のポイントを意識させるため、児童の実態に応じた問いを吟味したり、観察の際に視点を明確にしたりする。</li> <li>・担任や保護者から自分と地域の方々との関わりについて話を聞くことで、自分との関わりを意識させるとともに、関わろうとする意識をもたせるようにする。</li> <li>・活動を通して、表現する機会を増やす。特に振り返りを大切にし、次の活動につなげられるような指導計画にする。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業を楽しみ、意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・おに遊びや遊具遊びなど、遊びながら体を動かすことで楽しく活動していた。</li> <li>・ルールを守ったり、安全に気をつけたりしながら活動することができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことを楽しみ、体育に意欲的に取り組むことができる。約束を守ってほとんどの児童が仲良く楽しく運動ができる。</li> <li>・活動のルールを守り、安全に気をつけながら活動することができる。</li> <li>・動きを工夫したり、友達の良い動きをまねたりすることで、洗練された動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い動きをしている児童を称賛し、お手本として共有する。</li> <li>・活動に入る前にルールや注意事項を伝える。色分けをしたり、ホワイトボードを活用したりするなど、児童が視覚的にも理解しやすいように説明をする。</li> <li>・リングバトンやタグなどの教具を活用して、互いの接触を避けながらも楽しく活動できるようにする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月の歌や校歌をマスク越しに小さな声で楽しんで歌っている。</li> <li>・リズムに乗って体を動かしたり、手拍子を打ったりするなど楽しんで自己表現できる児童が多く見られる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカについては、間隔を空けるなどコロナ対策をして、楽しく練習している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口を大きく開けて、伸び伸びと歌ったり、リズムに乗って体を動かしたり、様々な楽器を演奏したりして、音楽活動を楽しむことができる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカでは、正しい指使いで楽しみながら演奏できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム遊びなど、音楽に合わせて自然に体を動かすような活動やタンバリンなどの打楽器を取り入れていく。</li> <li>・鍵盤ハーモニカは、指使いやタンギングを中心にスモールステップで一つ一つできるようにしていく実感をもたせる。連指表のついている楽譜を用意するなど個人差に応じた指導を行う。</li> </ul>	
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が描きたいものや作りたいものを、折り紙、粘土等の素材を活かして作るなど、伸び伸びと創作活動を楽しんでいる児童が多い。</li> <li>・手や指先を十分に動かせることができず、細かい部分まで丁寧に塗ったり、切ったりすることを苦手とする児童も見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作りたい作品に合わせて絵の具の色を作ったりぬったりする。</li> <li>・はさみやのり、クレパス、絵の具などの用具の正しい使い方を知り、隅々まで丁寧に作品を作り、仕上げようとする事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって作品作りができるよう、作品作りの前に、用具の使い方についてスモールステップで練習する活動を設定する。</li> <li>・はさみやのりについては、様々な場面で使い、経験を積んでいくようにする。</li> </ul>	